

専門技術者講習・試験 受験申請者数は1,860名

内 発 協

内発協が実施する平成23年度の専門技術者講習・試験の受験申請者数は、自家用発電設備専門技術者が昨年度(984名)より若干増加し1,040名となり、一方、可搬形発電設備専門技術者については大幅に増加した昨年度(900名)よりは若干減少したものの、当初の予想よりは多い820名となった。申請書の書類審査が全数完了していないことから、最終的な受験申請者数は多少変動する見込み。

新規受験申請以外では、科目別受験(※1)が49名、業務区分追加受験(※2)が28名、資格再付与受講(※3)が60名と、それぞれ昨年度並みの申請状況であった。

専門技術者資格を取得するための講習・試験は、9月上旬から11月上旬にかけて、自家用発電設備専

門技術者講習・試験は全国10会場(札幌、仙台、東京、富山、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇)で計12回、可搬形発電設備専門技術者講習・試験については同9会場(那覇を除く)で計10回実施する。

受験結果については、講習・試験終了後に開催される自家用発電設備専門技術者審査委員会で審査され、この審査結果に基づき、内発協会長が合否を決定する。年明けにも受験者に対し、合否結果が通知される予定。

- ※1 科目別受験：昨年度受験科目の一部が合格点に達しなかったことにより合格できなかった者を対象に、その科目を再度受け直す受験をいう。
- ※2 業務区分追加受験：既に専門技術者資格を保有している者が、未取得の業務区分を新たに同資格に追加する目的で(例：M→KM)受け直す受験をいう。
- ※3 資格再付与受講：過去3年以内にやむを得ない事情により専門技術者資格を喪失した者を対象に、新規受験における講習を全て受講することにより、同資格を再度付与する受講をいう。